

主要指標作成に関する課題（論点）

1 子ども・子育て支援

- ・家族構成や母親の就労状況と子供の数との関係
⇒ ミクロデータを活用し、子どもが複数いる世帯の特徴等を分析することにより、効果的な支援策が検討できないか。

2 健康寿命

- ・元気活動高齢者の数
⇒ 現在の健康寿命は介護保険のデータを使用している。趣味やボランティア、地域活動など就業はしていないが、健康で元気に活動している元気高齢者の実態を把握できていない。

3 社会増

- ・活動（移動・行動）実態に即した人口動態
⇒ 現在の人口・就業動態は、居住地や所属が基本であり、実際の人の動き（例：所属は大阪支社だが、神戸地域担当で週の大半は神戸市内で活動等）に即した把握ができていない。
- ・県内企業就職率（事業所所在地ベース）、県内定着の正確な把握
⇒ 現在の県内企業就職率は本社所在地ベースであり、県内事業所に所属しても本社が県外の場合、県内企業就職率にカウントされない。

4 地域の元気づくり

- ・地域の元気活動を示す指標
⇒ GDP指標で評価できる第1次～第3次産業以外の地域活動の活発度を把握できていない。